

若葉をはずせ! コシで完璧、 走り屋ギヤルの ドラテク教室!!



第2回：ブレーキ講座の

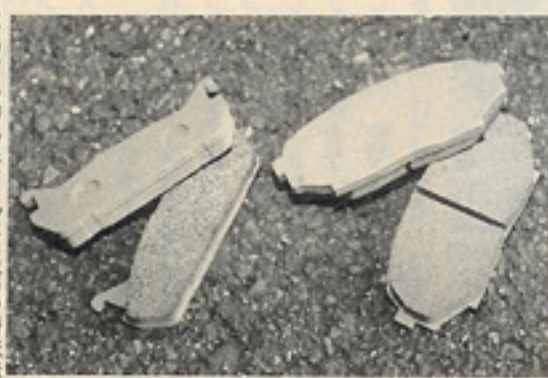
巻 前編

講師：ブリーチしようかな、のターザン山田先生



ノーマルは表面がつるつるでしょ、素材の違いがここにも出るのだ。低コストで作ってるから、それほど素材にこだわってられないのもわかるけどね。

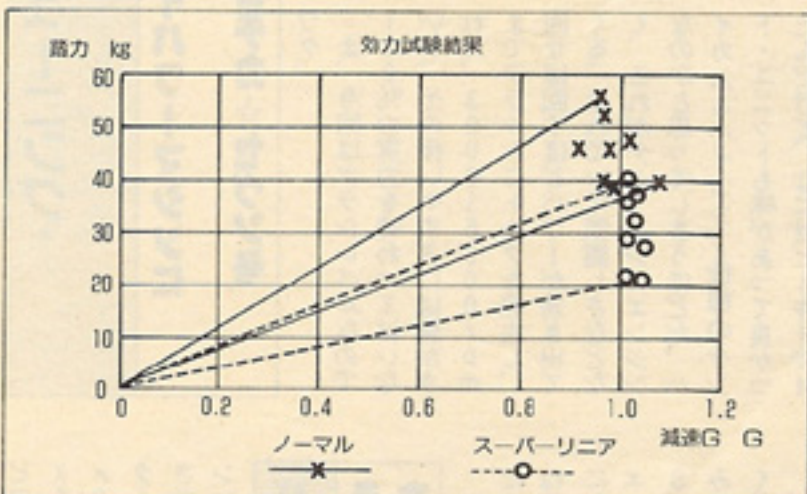
下リインジションモールドと云う特殊素材を用いたスーパーリニア。パッドの色はきれいなグリーンで、カラーで見せられないのが残念だ。



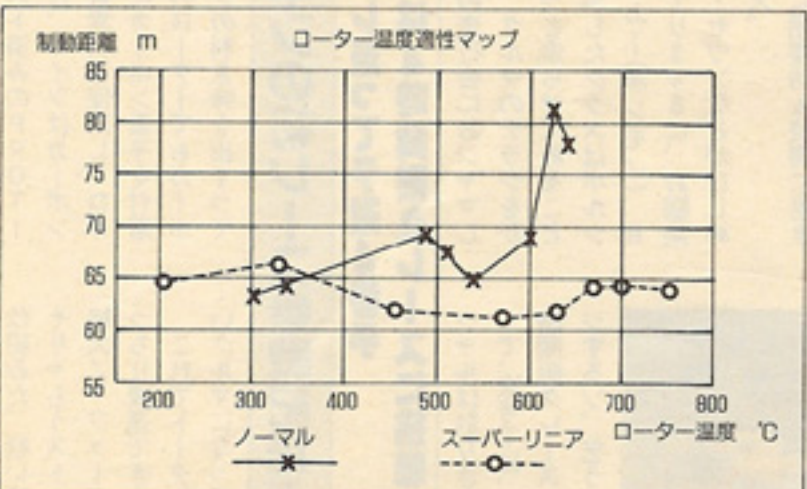
腕磨き前の 腹ごしらえ、 頭磨いて

CARごしらえだ! 編

男走り屋軍団に負けるもんか! の、ドラテク教室。第2回はブレーキを伝授する予定だったが、ふいに「ブレーキって、なじえ止まるんだろ?」の疑問が。やっぱりある程度の構造は、押さえおかきゃ! というわけで、テク磨きの前にまずは基本メカのお勉強。ついでにこいつは重宝、DIYパッド交換も、走り屋気取るなら、ぜひマスターだ!



同じ踏む力に対して、減速の割合がこんなに違う。例えば、0.6の減速Gは、スーパーリニアだと10kgちよいで踏めば得られるのに、ノーマルは倍、20kg以上の踏力が必要になる。どっちがすぐ止まるかは明瞭だ。



どっぴゃあ!! この跳ね上がり、ノーマルは600°Cを超えると一気に制動距離が延びる、つまり効かなくなるコトを示している。スーパーリニアは大変安定しているのがわかるでしょ。これだったら、峠の下りで、ブレーキフル活動のすらい高温状態でも、余裕のブレーキングができて安心だ。

*2つのデータは、ノーマルとスーパーリニアをそれぞれ8回ずつテストした結果だ。テスト車両はPS13シルビア。(HKS社内データ)

ブレーキチューンは パッドから!

一般車のブレーキは万人向けだけあって、ブレーキを酷使する走り屋諸君には「高速でもっと効いて欲しいのに」など不満が出るもの。なら自分好みにチューニング

グノ。そこで一番に手掛けたのがパッド交換だ。ブレーキシステムの主役はやはりパッド。そもそもブレーキは回転する金属(ローター)に摩擦材(パッド)を押しつけ、この摩擦によって熱が発生。つまり走る運動エネルギーが、摩擦による熱エネルギーに変換されることで、速度が落ちる理屈だ。だから、ハードブレーキを頻繁に使う走り屋は、高熱に耐えてくれるパッドが欲しいとこだよね。

り検証だ! さらに、よく知りや簡単、「パッド交換」もこの際、自分でやってみよう。付いた物を外し、あった通りにくっ付けるだけだもん、できなきゃ走り屋ギヤルは語れないよお!

とは言え、常に攻めるわけじゃない。街中ではのんびり走ったりするし、低温でも良く効いてくれた方が安心だ。そんな人におススメなのは、ストリートを基本的に幅広い場面を想定し開発されているスポーツパッド、なのだ。んで、この11月に「より、コントロール性能を高めた」HKSスーパーリニアが発売。まさにドラテク磨きとタイムリッツで、コイツでノーマルとの差をじっくり

新発売、HKS スーパーリニアを 検証だ!!

新製品のパッド「HKSスーパーリニア」はストリート派をターゲットにしたノンアスベストパッド。読んで字のごとく、ドライバードラテクが踏んだ分だけ止まってくれる、リニアな感触を楽しめるブレーキパッドだ。

適応車種はロードスター、FC3S、Z32、PS13、R32、GTR、AE86、AE88、シビックEF8、9。価格がフロント2万3500円、リヤ2万2000円。全車種とも共通だ。